

2019 年 10 月 4 日

各位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

リコーリース株式会社のグリーンボンドの引受けについて

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、リコーリース株式会社が発行するグリーンボンド⁽¹⁾（5 年債 100 億円）の引受けにおいて事務主幹事および Green Bond Structuring Agent⁽²⁾を務め、本日、同グリーンボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

リコーリース株式会社は、“「リース」の先へ”というビジョンのもと、SDGs（持続可能な開発目標）を経営のベースに据え、社会課題の解決を積極的に担いながら、新たな価値を創造し、持続的に企業価値の向上を目指しております。本件グリーンボンドにより調達した資金は、太陽光発電設備及び小水力発電設備（発行体の割賦契約対象資産）購入資金のリファイナンス資金に充当される予定です。

本件グリーンボンドは適格性と透明性の確保および投資家への訴求力向上のため、第三者評価として日本格付研究所（JCR）より「JCR グリーンボンド評価」の最上位評価である「Green 1」の評価を取得しております。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、環境分野においてもグリーンボンドの引受けをはじめ、炭素クレジットやクリーンエネルギービジネスにおけるコンサルティングサービスの提供、社内の省エネ・省資源施策等を実施しています。

2006 年に国連責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）が制定されて以来、世界の ESG⁽³⁾投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。当社は引き続き、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本件グリーンボンドの概要)

債 券	名	： リコーリース株式会社第 38 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）
取 得 格	付	： AA-（JCR）
年 限	限	： 5 年（2024 年 10 月 11 日償還）
発 行 額	額	： 100 億円
利 率	率	： 0.120% ／年
払 込 期	日	： 2019 年 10 月 11 日
主 幹 事	事	： 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社、 みずほ証券株式会社、大和証券株式会社、野村證券株式会社
Green Bond Structuring Agent		： 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

- (1) 本件グリーンボンドは、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「グリーンボンド」の特性に従ったものであり、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券
- (2) グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドパーティオピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者
- (3) 環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉

以上